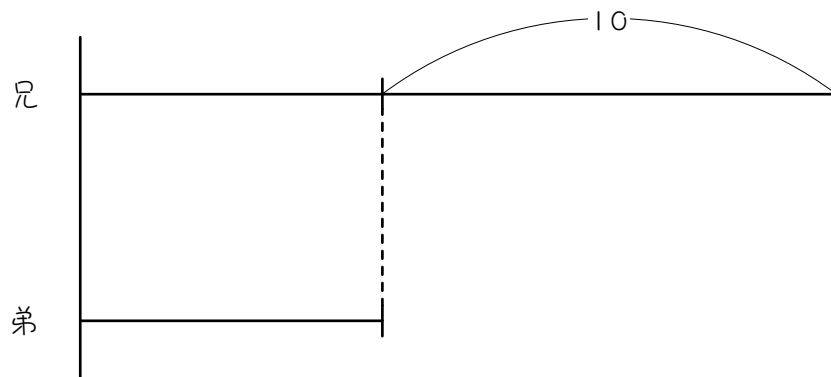


ステップ1 等しくなる① - わたす数を求める

1

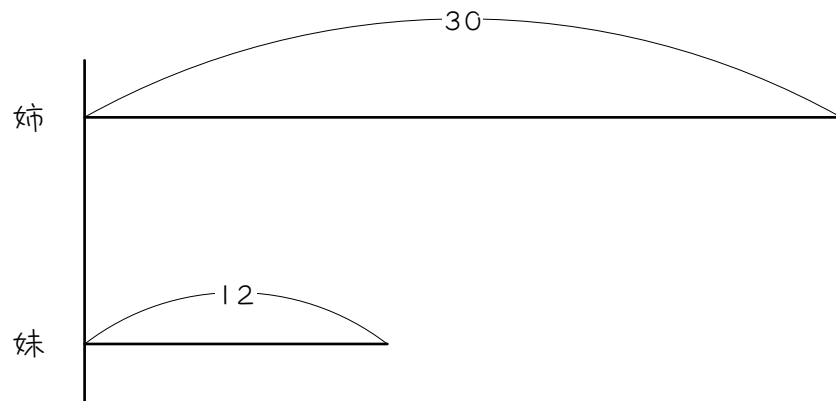
兄は弟より10個多くビー玉を持っています。兄が弟に何個あげると、2人のビー玉の数が等しくなりますか。



2

姉は 30 個、妹は 12 個のおはじきを持っています。姉が妹に何個あげると、2 人のおはじきの数が等しくなりますか。□の考え方をを使って

解きなさい。



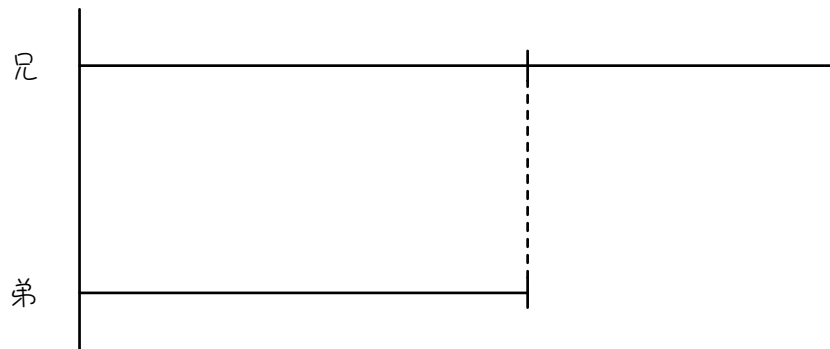
3

兄は 1200 円、弟は 540 円のおこづかいを持っています。兄が弟に何円あげると、2 人のおこづかいは等しくなりますか。

ステップ2 等しくなる② - 持っている数を求める

4

兄と弟はそれぞれおはじきを持っています。もしも兄が弟に11個わたすと、2人の持っているおはじきの個数が等しくなります。



(1) 兄は弟より何個多くおはじきを持っていますか。上の線分図に「11」

を書きこんで考えなさい。

(2) 兄と弟は合わせて86個のおはじきを持っています。兄と弟はそれぞれ

何個のおはじきを持っていますか。(1)を利用して解きなさい。

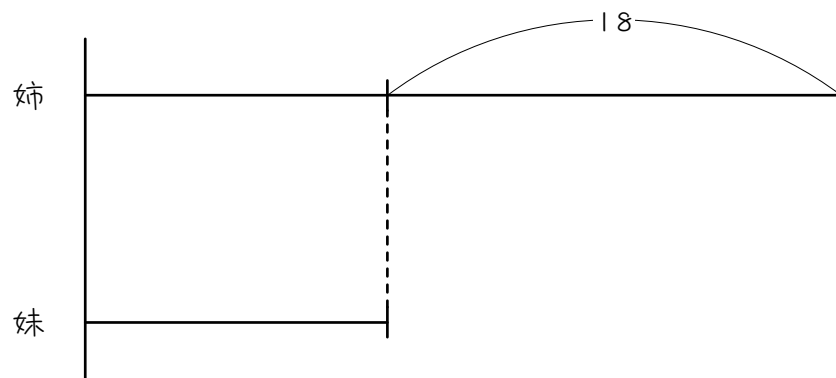
5

姉と妹は合わせて3ダースのえんぴつを持っています。もし姉が妹に4本あげると、2人の持っているえんぴつ数が等しくなります。姉と妹はそれぞれ何本のえんぴつを持っていますか。

ステップ3 多い方が多いまま① - わたす数を求める

6

姉は妹よりも18個多くおはじきを持っています。姉が妹に何個あげたので、姉は妹より4個だけ多くなりました。姉は妹に何個のおはじきをあげましたか。



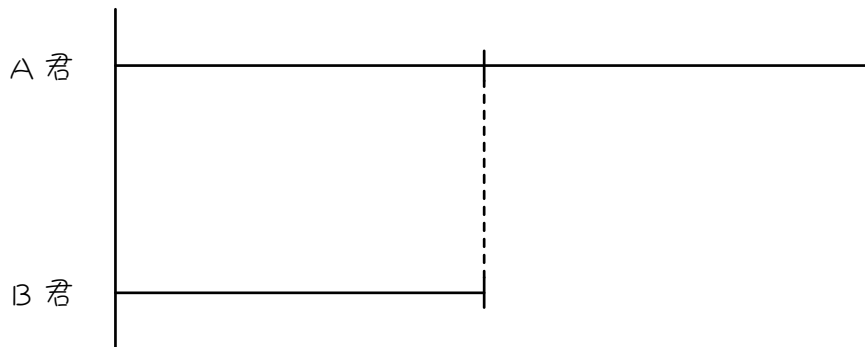
7

兄は 1500 円、弟は 650 円のおこづかいを持っています。兄が弟に何円かあげたので、兄は弟より 150 円だけ多くなりました。兄は弟に何円あげましたか。6 の考え方を使って解きなさい。

ステップ4 多い方が多いまま② - もっている数を求める

8

A君とB君はそれぞれ切手を持っています。A君がB君に切手を7枚あげたので、A君がB君より8枚だけ多くなりました。



(1) はじめA君はB君より何枚切手を多く持っていましたか。上の線分図

に「7」と「8」を書きこんで考えなさい。

(2) A君とB君はあわせて64枚の切手を持っています。はじめに2人が

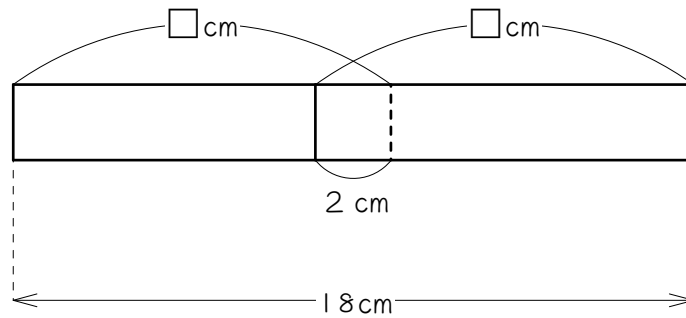
持っていた切手はそれぞれ何枚ですか。(1)を利用して解きなさい。

9

兄と弟はあわせて72枚の色紙を持っています。もしも兄が弟に12枚あげても、まだ兄が弟より8枚多いそうです。兄と弟はそれぞれ何枚の色紙を持っていますか。8の考え方を使って解きなさい。

ステップ5 重なりのある問題

- 10 図のように、長さ□cmの長方形のテープを2枚、のりしろを2cmにしてつなげ合わせたところ、全長が18cmになりました。□にあてはまる数を求めなさい。



ステップ6 逆転する① - わたす数を求める

11

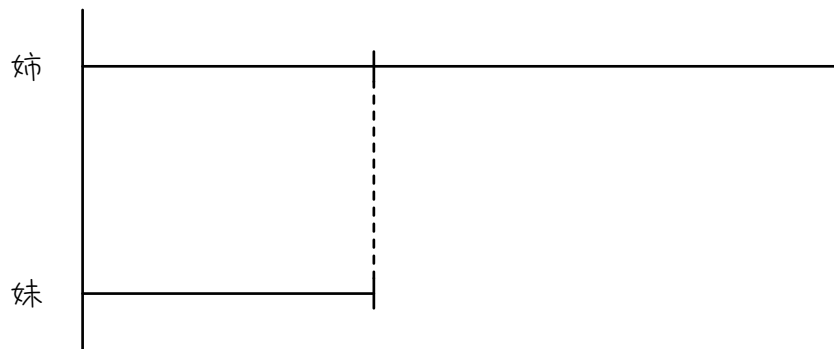
姉は妹よりも18個多くおはじきを持っています。姉が妹に何個あげたので、妹が姉より4個多くなりました。姉は妹に何個のおはじきをあげましたか。

12

兄は 2400 円、弟は 1300 円のおこづかいを持っています。兄が弟に何円かあげたので、弟は兄より 500 円多くなりました。兄は弟に何円あげましたか。

ステップ8 逆転する② - もっている数を求める

- 13 姉が妹に5個のビー玉をあげたので、妹の個数が姉の個数よりも2個多くなりました。



- (1) はじめ姉は妹より何個多くビー玉を持っていましたか。上の線分図に「5」と「2」を書きこんで考えなさい。
- (2) 姉と妹はあわせて18個のビー玉を持っています。はじめ姉と妹はビー玉を何個ずつ持っていましたか。(1)を利用して解きなさい。

14

兄と弟はあわせて 1200 円のおこづかいを持っていました。兄が弟に 350 円あげたので、弟が兄より 100 円多くなりました。はじめの 2 人はそれぞれ何円持っていましたか。13 の考え方を使って解きなさい。

■ 解答 ■

1 5個

2 9個

3 330円

4 (1) 22個

(2) 兄54個 弟32個

5 姉22本 妹14本

6 7個

7 350円

8 (1) 22枚

(2) A君43枚 B君21枚

9 兄52枚 弟20枚

10 10

11 11個

12 800円

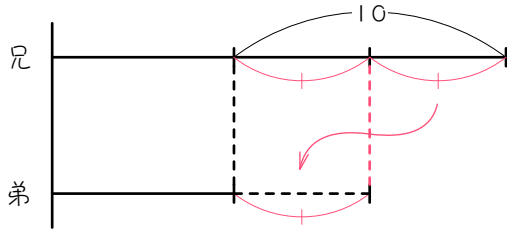
13 (1) 8個

(2) 姉13個 妹5個

14 兄900円 弟300円

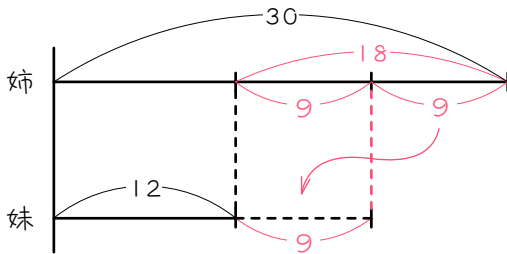
■ 解説 ■

1



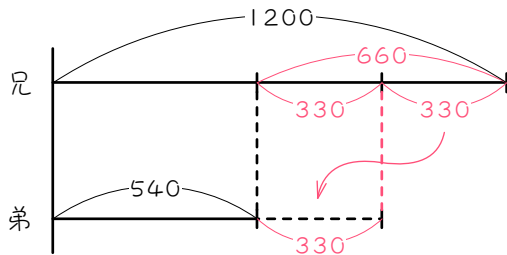
図のように、差の半分をあげると、2人の個数は等しくなります。
よって、 $10 \div 2 = \underline{5}$ (個)

2



差の半分をあげると等しくなる。
 $30 - 12 = 18$ (個)
 $18 \div 2 = \underline{9}$ (個)

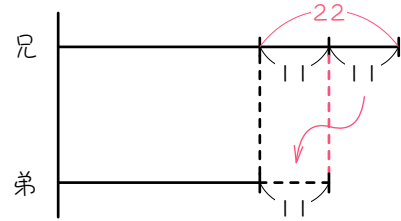
3



差の半分をあげると等しくなる。
 $1200 - 540 = 660$ (円)
 $660 \div 2 = \underline{330}$ (円)

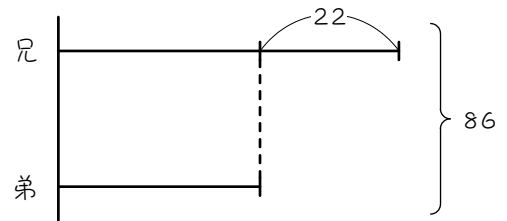
4

(1)



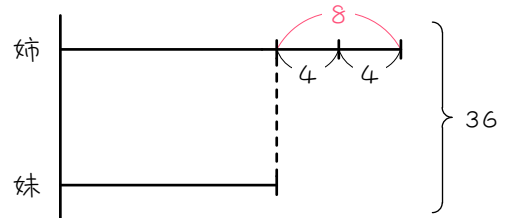
差の半分が11個だから、
 $11 \times 2 = \underline{22}$ (個)

(2)



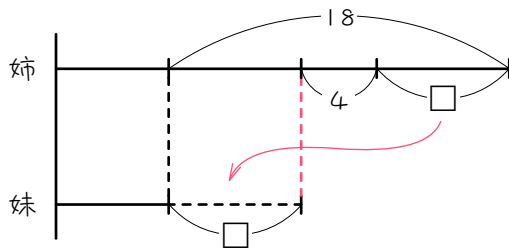
図のような和差算になります。
 $(86 - 22) \div 2 = \underline{32}$ (個) … 弟
 $32 + 22 = \underline{54}$ (個) … 兄

5



4本あげたら等しくなるから、
 $4 \times 2 = 8$ (本) … はじめの差
1ダースは12本だから、
 $12 \times 3 = 36$ (本) … はじめの和
よって、和差算。
 $(36 - 8) \div 2 = \underline{14}$ (本) … 妹
 $14 + 8 = \underline{22}$ (本) … 姉

6



□個あげたものとして図を描くと、上の図のようになります。

図より、

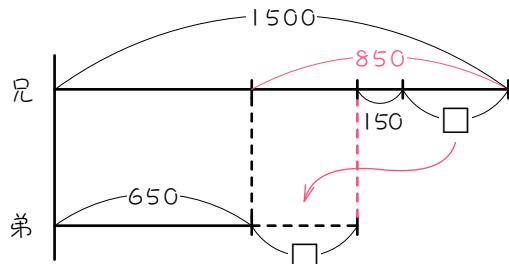
$$\square + 4 + \square = 18$$

よって、

$$18 - 4 = 14(\text{個})$$

$$14 \div 2 = \underline{7(\text{個})}$$

7



はじめの2人の差は、

$$1500 - 650 = 850(\text{円})$$

□個あげたとすると、

$$\square + 150 + \square = 850$$

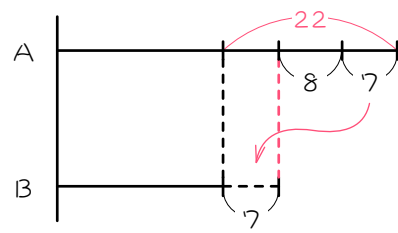
よって、

$$850 - 150 = 700(\text{円})$$

$$700 \div 2 = \underline{350(\text{円})}$$

8

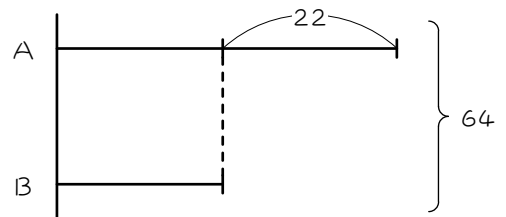
(1)



図より、はじめの2人の差は、

$$7 \times 2 + 8 = \underline{22(\text{枚})}$$

(2)

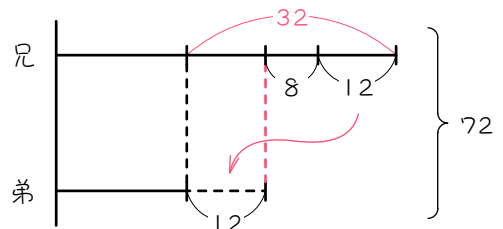


上の図のような和差算になります。

$$(64 - 22) \div 2 = \underline{21(\text{枚})} \cdots \text{B君}$$

$$21 + 22 = \underline{43(\text{枚})} \cdots \text{A君}$$

9



図より、はじめの2人の差は、

$$12 \times 2 + 8 = 32(\text{枚})$$

よって、和差算より、

$$(72 - 32) \div 2 = \underline{20(\text{枚})} \cdots \text{弟}$$

$$20 + 32 = \underline{52(\text{枚})} \cdots \text{兄}$$

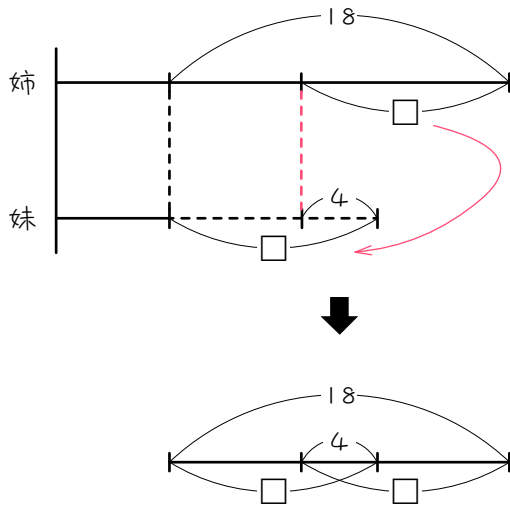
10

□ + □ - 2 = 18(cm)だから、

$$18 + 2 = 20(\text{cm})$$

$$20 \div 2 = \underline{10(\text{cm})} \cdots \square$$

11 2人の差が逆転しているので、2人の差の半分よりも多くわたしていることになります。



□と□が4だけ重なっている。

□個あげたものとして図を描くと、上の図のようになります。

図より、

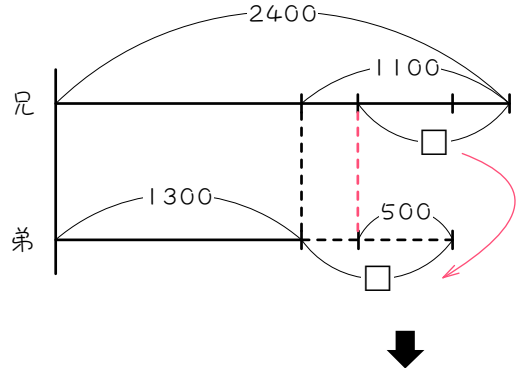
$$\square + \square - 4 = 18$$

よって、

$$18 + 4 = 22(\text{個})$$

$$22 \div 2 = \underline{11}(\text{個})$$

12 2人の差が逆転しているので、2人の差の半分よりも多くわたしていることになります。



□と□が500だけ重なっている。

□個あげたものとして図を描くと、上の図のようになります。

$$2400 - 1300 = 1100(\text{円})$$

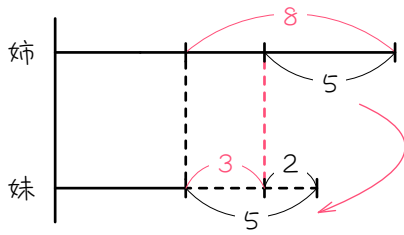
$$\square + \square - 500 = 1100$$

よって、

$$1100 + 500 = 1600(\text{円})$$

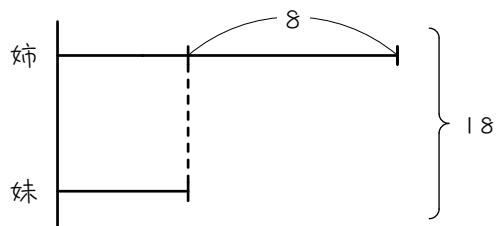
$$1600 \div 2 = \underline{800}(\text{円})$$

13 (1)



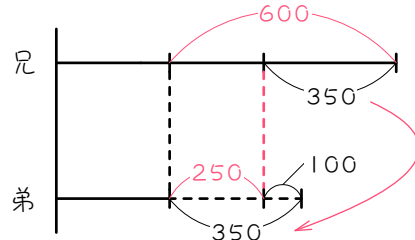
図より、はじめの2人の差は、
 $5 - 2 = 3$ (個)
 $3 + 5 = \underline{8}$ (個)

(2)

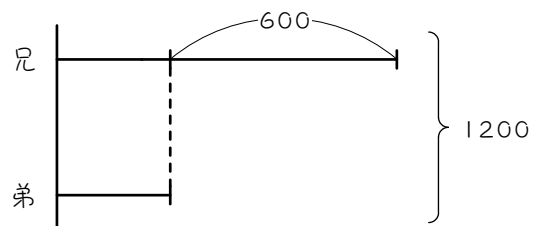


図のような和差算になります。
 $(18 - 8) \div 2 = \underline{5}$ (個) …妹
 $5 + 8 = \underline{13}$ (個) …姉

14



図より、はじめの2人の差は、
 $350 - 100 = 250$ (円)
 $250 + 350 = 600$ (円)



図のような和差算になります。
 $(1200 - 600) \div 2 = \underline{300}$ (円) …弟
 $300 + 600 = \underline{900}$ (円) …弟